メッセージ　10

キリストの死に同形化され、格別な復活に到達する

聖書：ピリピ 3:10-11

キリストの死に同形化され

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

⇒「彼の死に同形化されて」は、前の「知る」にかかります。パウロは、キリストの死に同形化されていく中で、キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりを経験の中で知るのです。

格別な復活に到達する

ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

Ⅰ	キリストの死に同形化される	A～B	キリストを経験することの結果と基礎
		C	キリストの死は鋳型である
		D	わたしたちをこの鋳型の形に同形化する
		E	キリストのすべてを達成する死を経験する
Ⅱ	格別な復活に到達する（キリストの死に同形化された結果）	A	格別な復活は勝利を得た聖徒たちへの賞
		B	格別な復活に到達するにはレースを走る必要がある
		C～E	格別な復活に到達する意義と経験
		F～G	格別な復活に到達するために追い求める

メッセージ10　キリストの死に同形化され、格別な復活に到達する

日	段落	流れ	主題	要点
D1	キリストの死に同形化される		キリストの死への同形化は、キリストを経験することの結果と基礎	キリストを経験することの結果と基礎
				キリストの死という鋳型
D2			わたしたちをキリストの死という鋳型の形に同形化する	神はわたしたちをキリストの死という鋳型に置く
				キリストの死への同形化を経験する
D3			キリストのすべてを達成する死を経験する	命を解き放ち、命に至り、神の栄光を現す
				この世に打ち勝ち、サタンを打ち破り、キリストに引き寄せる
D4	格別な復活に到達する		格別な復活への到達は賞であり、その意義	格別な復活は賞である
				格別な復活に到達する意義
D5			格別な復活の経験	旧創造から出て、新創造へと入る
				生きることはキリストである
D6			格別な復活に到達するために追い求める	パウロは追い求める
				わたしたちが到達するために

結びの言葉
キリストの死に同形化されることは、 キリストを経験することの基礎である
復活の過程でキリストを経験することを追い求める

キリストの死に同形化され

Ⅰ. ピリピ第 3 章 10 節でパウロは、「彼の死に同形化されて」と語っています。この表現が示しているのは、パウロがキリストの死をパウロの生活の鋳型とすることを願っていたということです：

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

キリストを経験する事の結果と基礎

＊結果

A. ①キリストを知る知識の卓越性、②すべての事を損失であると勘定すること、③キリストを獲得すること、④彼の中に見いだされること、⑤彼を知ること、⑥彼の復活の力を知ること、⑦彼の苦難の交わりを知ることはすべて、結果として一つの事を生み出します。それは、キリストの死に同形化されることです――ピリピ 3:7-10。

ピリピ 3:7　しかし、わたしにとって益であった事柄を、わたしはキリストのゆえに、損失と勘定するようになりました。
ピリピ 3:8　しかしさらに、わたしはまた、①わたしの主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、②すべての事を損失であると勘定します．その方のゆえに、わたしはすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくたと勘定します．それは、③わたしがキリストを獲得するためであり、
ピリピ 3:9　そして、④キリストの中に見いだされるためです．それは、律法に基づくわたし自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って、
ピリピ 3:10　⑤キリストと⑥彼の復活の力と⑦彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

＊基礎

B. キリストの死に同形化されることは、キリストを経験することの基礎です――1:20-21 前半. 3:9-10。

ピリピ 1:20　そこで、わたしの切なる期待と希望は、わたしがどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、わたしの体において大きく表現されることです。
ピリピ 1:21　なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。
ピリピ 3:9　そして、キリストの中に見いだされるためです．それは、律法に基づくわたし自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って、
ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

キリストの死は鋳型です

C. キリストの死という鋳型は、彼の天然の、人の命を継続的に死に渡して、彼が神の命によって生きることを指しています――ヨハネ 6:57 前半：

ヨハネ 6:57　生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる。

1. 主イエスは地上にいたとき、十字架につけられた生活をしました。十字架につけられた生活をすることによって、彼は神に対して生かされ、神を生きました。
2. 彼は常に彼の人の命を死に渡して、彼の内側の神聖な命が流れ出ることができるようにしました――10:10 後半-11，17。

ヨハネ 10:10　盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない．わたしが来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。

ヨハネ 10:11　わたしは良い牧者である．良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。

ヨハネ 10:17　父がわたしを愛してくださるのは、わたしが自分の命を捨てるからである．命を捨てるのは、それを再び得るためである。

3．彼は生きていたとき、また死につつありました。すなわち、旧創造に死に、新創造にある生活をしつつありました。これがピリピ第 3 章 10 節にある「彼の死」の意義です。

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

神はわたしたちをこの鋳型の中へと置き、この鋳型に同形化されます

D．キリストの死は鋳型であり、わたしたちはこの鋳型に同形化されます。それは練り粉が菓子の鋳型の中へと入れられて、それに同形化されるのとほぼ同じです：

1．神はわたしたちを、キリストの死という鋳型の中へと置きました。そして日ごとに、神はわたしたちを鋳型に入れて、この死に同形化しつつあります——ローマ 6:3-4。

ローマ 6:3　それとも、キリスト・イエスの中へとバプテスマされたわたしたちはみな、彼の死の中へとバプテスマされたことを、あなたがたは知らないのですか？

ローマ 6:4　こういうわけで、わたしたちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです．それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、わたしたちも命の新しさの中を歩くためです。

2．わたしたちの生活はそのような鋳型に同形化されるべきです。すなわち、わたしたちの人の命に対して死んで、神聖な命を生きるべきです——ガラテヤ 2:20．Ⅱコリント 4:10-11。

ガラ 2:20　わたしはキリストと共に十字架につけられました．生きているのはもはやわたしではありません．キリストがわたしの中に生きておられるのです．そしてわたしは今、肉体の中で生きているその命を、わたしを愛し、わたしのためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。

Ⅱコリ 4:10　絶えずこの体に、イエスの致死力が働いています．それはまた、イエスの命が、わたしたちの体に現されるためです。

Ⅱコリ 4:11　なぜなら、わたしたち生きている者はイエスのために、絶えず死に渡されているからであり、それはイエスの命が、わたしたちの死ぬべき肉体に現されるためです。

3．わたしたちは自分の天然の命を死に渡すなら、別の命、すなわち神聖な命をわたしたちの内側に持つという感覚を持ちます。この命が解き放たれ、そしてわたしたちは経験の中で、キリストの死に同形化されます——ヨハネ 10:10 後半．Ⅰヨハネ 5:11-12。

ヨハネ 10:10　盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない．わたしが来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。

Ⅰヨハ 5:11　これが証しです．すなわち、神がわたしたちに永遠の命を与えられ、そしてこの命が彼の御子の中にあるということです。

Ⅰヨハ 5:12　御子を持つ者は命を持っています．神の御子を持たない者は命を持っていません。

4．キリストの死の鋳型の中で、天然の人は殺され、古い人は十字架につけられ、自己は無にされます——Ⅱコリント 4:16．ローマ 6:6．マタイ 16:24。

Ⅱコリ 4:16　こういうわけで、わたしたちは落胆しません．それどころか、わたしたちの外なる人が朽ちていっても、わたしたちの内なる

人は、日ごとに新しくされていきます。

ローマ 6:6　わたしたちは次のことを知っています．わたしたちの古い人が彼と共に十字架につけられたのは、罪の体が無効にされて、わたしたちがもはや、罪に奴隷として仕えることがないためです．

マタイ 16:24　それから、イエスは弟子たちに言われた、「だれでもわたしについて来たいなら、**自分を否み**、自分の十字架を負い、**わたしに従って来なさい。**

5．わたしたちが自分の環境に、わたしたちをこの鋳型の中へと押し込ませるなら、わたしたちの日ごとの生活はキリストの死の形へと鋳型に入れられます――ローマ 8:28-29。

ローマ 8:28　また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、わたしたちは知っています。

ローマ 8:29　なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです．それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです．

6．わたしたちはキリストの復活の力によって、キリストの死という鋳型に同形化されます――ピリピ 3:10．ヨハネ 11:25．エペソ 1:19-20．雅 2:8-13。

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

ヨハネ 11:25　イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である．わたしの中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる．

エペソ 1:19　また神の力強い大能の活動にしたがって、信じるわたしたちに働く彼の力が、どんなに超越して偉大であるかを知るように．

エペソ 1:20　神は、その力強い大能をキリストの内に働かせて、彼を死人の中から復活させ、彼を天上でご自身の右に座らせ、

雅 2:8　「わが愛する方の声！　ご覧なさい、あの方がやって来ます．山々を飛び越え、丘の上を跳びはねて。

雅 2:9　わが愛する方は、かもしかや若い雄鹿のようです。ご覧なさい、あの方はわたしたちの壁の後ろにじっと立ち、窓からのぞき、格子からうかがっています。

雅 2:10　わが愛する方は、わたしに答えて言われます、『わが愛する者よ、起き上がりなさい．わが美しい者よ、出て来なさい．

雅 2:11　見よ、すでに冬は過ぎ去り、雨もすっかり上がった。

雅 2:12　地には花が咲き乱れ、歌の季節がやって来た．山ばとの声が、わたしたちの地に聞こえる。

雅 2:13　いちじくの木はその実をならせ、ぶどうの木は花盛りで、良い香りを放っている。わが愛する者よ、起き上がりなさい．わが美しい者よ、出て来なさい。

キリストのすべてを達成する死を経験する

E．わたしたちはキリストの死に同形化されるとき、彼のすべてを達成する死**を経験します：**

＊命を解き放つ、命に至る

1．わたしたちはキリストの死に同形化されることによって、キリストの死において彼を経験し、命を解き放ち、分け与え、増殖させます――ヨハネ 12:24-25．Ⅱコリント 4:12。

ヨハネ 12:24　まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う．一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである．しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。

ヨハネ 12:25　自分の魂の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る。

Ⅱコリ 4:12　こうして、死はわたしたちの中で働き、命はあなたがたの中で働くのです。

＊神の栄光を現す

２．神の栄光を現す唯一の道は、キリストの死に同形化されることです。わたしたちはキリストの死に同形化されればされるほど、ますます御父の栄光を現します――ヨハネ 12:28．13:31。

ヨハネ 12:28　父よ、あなたの御名の栄光を現してください」。その時、天から声が臨んだ、「わたしはすでに栄光を現した．そして再び、栄光を現そう」。

ヨハネ 13:31　彼が出て行くと、イエスは言われた、「今や人の子の栄光は現され、人の子において神の栄光は現された。

＊この世に打ち打ち勝つ、サタンを打ち破る、キリストに引き寄せる

３．わたしたちはキリストの死を経験し、彼の死に同形化されるとき、他の人をキリストに引き寄せる磁石となります――12:32。

ヨハネ 12:32　わたしは、地から上げられるなら、すべての人をわたし自身に引き寄せよう」。

４．わたしたちはキリストと共に死ねば死ぬほど、ますます自分の魂の命を救って永遠の命に至ります――25 節。

ヨハネ 12:25　自分の魂の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る。

５．わたしたちはキリストの死に同形化されようとするなら、この世に打ち勝ち、サタンを打ち破ります――31 節．ヘブル 2:14。

ヨハネ 12:31　今は、この世が裁きを受ける時である．今、この世の支配者は追い出される。

ヘブル 2:14　こういうわけで、子供たちが血と肉にあずかっているので、同様に彼ご自身も同じものにあずかられたのです．それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり、

格別な復活に到達する（キリストの死に同形化された結果）

Ⅱ．キリストの死に同形化された結果は、わたしたちが死人の中からの格別な復活に到達し、あるいは達することです――ピリピ 3:11：

ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

格別な復活は勝利を得た聖徒たちへの賞です

Ａ．格別な復活は卓越した復活、特殊な復活であり、勝利を得た聖徒たちへの賞となります――啓 20:4，6：

啓 20:4　わたしはまた、いくつかの座を見た．そして人々がそれらに座しており、裁く権威が彼らに与えられた。そしてイエスの証しのゆえに、また神の言のゆえに首をはねられた人たちの魂と、獣もその像も拝まず、その額と手に印を受けなかった人たちの魂を見た．彼らは生きて、千年の間キリストと共に王として支配した。

啓 20:6　第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である．これらの人たちに対して、第二の死は何の権威もない．彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する。

１．キリストの死の中にいるすべての信者は、主の再来の時、死人の中からの復活にあずかります――Ⅰテサロニケ 4:16．Ⅰコリント 15:52。

Ⅰテサ 4:16　なぜなら、主ご自身が、号令の叫びと、天使の長の声と、神のラッパの音と共に、天から下って来られ、そしてキリストにある死人がまず復活するからです。

Ⅰコリ 15:52　それは最後のラッパの時、一瞬にして、またたく間にです．ラ

ッパが鳴り響いて、死人は朽ちないものに復活させられ、わたしたちは変えられるのです。

2．主の勝利者は、その復活の特殊な、卓越した分、すなわち王国の褒賞を受けるという復活を享受します。これが、使徒パウロが追い求めていたものです――ヘブル 11:35，26。

ヘブル 11:35　女たちは自分たちの死んだ者を復活させてもらいました．他の者たちは、さらにまさった復活を得るために、釈放されようとはせず、打たれて死にました。

ヘブル 11:26　キリストのそしりを、エジプトの財宝にまさる富と考えました．それは、彼が褒賞をひたすら望んでいたからです。

3．格別な復活は、わたしたちのクリスチャン生活の目標また目的であるべきです――ピリピ 3:11-15 前半。

ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

ピリピ 3:12　わたしは、すでに得たとか、すでに完成されているとか言うのではありません．わたしは、それを捕らえようと追い求めているのですが、それはわたしが、キリスト・イエスによって捕らえられているからです。

ピリピ 3:13　兄弟たちよ、わたしはまだ自分自身、捕らえたとは思っていません．ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、

ピリピ 3:14　キリスト・イエスの中でわたしを上に召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。

ピリピ 3:15　こういうわけで、成人した者はみな、この思いを持とうではありませんか．また、もしあなたがたが別のことを思っているなら、神はこれをも、あなたがたに啓示してくださるでしょう。

格別な復活に到達するにはレースを走る必要があり

B．格別な復活に到達することは、格別な復活に達することです。これは、わたしたちが賞を求めて、勝ち誇ってレースを走ることを必要とします。

C-E: 格別な復活に到達する意義と経験

C．格別な復活に到達することは、わたしたちの全存在が徐々に、また継続的に復活させられることを意味します――Ｉテサロニケ 5:23：

Ｉテサ 5:23　そして平和の神ご自身が、あなたがたを徹底的に聖別し、あなたがたの霊と魂と体とを守って、わたしたちの主イエス・キリストの来臨の時に、完全で責められるところのない者にしてくださいますように。

1．神はまずわたしたちの死んだ霊を復活させました。彼は続けてわたしたちの魂とわたしたちの死ぬべき体を復活させて、わたしたちの全存在（霊、魂、体）が彼の命によって、彼の命をもって、わたしたちの古い存在から完全に復活させられるようにします――エペソ 2:5-6．ローマ 8:6，11。

エペソ 2:5　わたしたちが違犯の中で死んでいた時、わたしたちをキリストと共に生かし（あなたがたが救われたのは、恵みによるのです）、

エペソ 2:6　キリスト・イエスの中で、わたしたちを彼と共に復活させ、彼と共に天上で座らせてくださいました．

ローマ 8:6　肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。

ローマ 8:11　そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。

2．わたしたちがキリストの死に同形化されるなら、わたしたちの存在のあらゆる部分は徐々に復活させられます。こういうわけで、クリスチャン生活は復活の過程です。

3．わたしたちは、十字架につけられた生活をしてキリストの死に同形化されることによってのみ、この目標に達することができます――ピリピ 3:10-11。

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

4．キリストの死において、わたしたちは旧創造から新創造への過程を経過します――10-11 節．Ⅱコリント 5:17。

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

Ⅱコリ 5:17　ですから、だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました．見よ、それらは新しくなりました。

＊旧創造から出て、新創造へと入る

D．格別な復活は、旧創造から出て、新創造へと入る復活です――ガラテヤ 6:15．Ⅱコリント 5:17：

ガラ 6:15　割礼も無割礼も重要ではありません．重要なのはただ新創造です。

Ⅱコリ 5:17　ですから、だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました．見よ、それらは新しくなりました。

1．格別な復活の中にいることは、旧創造のあらゆるものから離れて、神へともたらされることを意味します。

2．格別な復活の中には、旧創造の要素はありません。むしろ、あらゆるものは神聖な要素に満ちています――啓 21:5 前半。

啓 21:5　すると御座に座す方が言われた、「見よ、わたしはすべての事を新しくする」。また彼は言われた、「書き記せ．これらの言は信じるべきものであり、真実だからである」。

＊生きることはキリスト

E．パウロにとって、生きることは格別な復活としてのキリストでした――ピリピ 1:21 前半．3:11：

ピリピ 1:21　なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。

ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

1．格別な復活は、実はキリストの親愛な、尊い、卓越したパースンです。この方は十字架と復活を通して、旧創造から出て来て、神の中へと入りました――ヨハネ 14:3，20．ヘブル 6:19-20。

ヨハネ 14:3　わたしが行って、あなたがたのために場所を用意したなら、再び来て、あなたがたをわたし自身に迎える．わたしがいる所に、あなたがたもいるようになるためである。

ヨハネ 14:20　その日には、わたしがわたしの父の中におり、あなたがたがわたしの中におり、わたしがあなたがたの中にいることを、あなたがたは知るであろう。

ヘブル 6:19　わたしたちが持っているこの望みは、安全で確固とした魂の錨であり、幕の内側に入って行くものです．

ヘブル 6:20　先駆者イエスは、永遠にメルキゼデクの位による大祭司となって、わたしたちのために幕の内側に入られたのです。

2．**わたしたちが生きるべきキリストは、ご自身が格別な復活です**――ピリピ 1:21 前半．3:11．ヨハネ 11:25。

ピリピ 1:21　なぜなら、わたしにとって生きることはキリストであり、死ぬ

ことは益であるからです。
ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。
ヨハネ 11:25　イエスは彼女に言われた、「わたしは復活であり、命である．わたしの中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる．

F-G：格別な復活に到達するために追い求める

Ｆ．ピリピ第 3 章 12 節でパウロはすでに、信者たちの共通の信仰によって、信者たちの共通の救いを得ていましたが、復活の特殊な分を得ていませんでした：

ピリピ 3:12　わたしは、すでに得たとか、すでに完成されているとか言うのではありません．わたしは、それを捕らえようと追い求めているのですが、それはわたしが、キリスト・イエスによって捕らえられているからです。

１．その分を得るために、彼は追い求め、走り、勝ち誇って行程を終えなければなりませんでした――Ⅱテモテ 4:7-8。

Ⅱテモ 4:7　わたしは良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。
Ⅱテモ 4:8　今からは、義の冠がわたしのために用意されているのです．かの日には、義なる審判者である主が、それをわたしに授けてくださいます．わたしだけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。

２．ピリピ第 3 章 12 節の「追い求め」のギリシャ語は、「迫害する」と同じ言葉です。この言葉はまた、「推し進める、追求する」を意味します：

ピリピ 3:12　わたしは、すでに得たとか、すでに完成されているとか言うのではありません．わたしは、それを捕らえようと追い求めているのですが、それはわたしが、キリスト・イエスによって捕らえられているからです。

ａ．パウロはそのようにしてレースを走り、賞を得て円熟に達しました。

ｂ．彼は救われる前、キリストを迫害していました。彼は救われた後、キリストを追い求めて、キリストを迫害するまでになりましたが、それは積極的な方法においてです。

Ｇ．**わたしたちはキリストの死に同形化されて、何としてでも死人の中からの格別な復活に到達する必要があります。これが、主が彼の回復の中で前進する唯一の道、主が彼の召会を建造する唯一の道、花嫁を用意する唯一の道、主の再臨をもたらす唯一の道です**――10-11 節．マタイ 16:18．啓 19:7-9 前半．22:14，20。

ピリピ 3:10　キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、
ピリピ 3:11　何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。
マタイ 16:18　そこでわたしもあなたに言う．あなたはペテロである．わたしはこの岩の上に、わたしの召会を建てる．ハデス［陰府］の門も、それに勝つことはない。
啓 19:7　わたしたちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう．小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。
啓 19:8　彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された．その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である」。
啓 19:9　御使いはわたしに言った、「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである、と書き記しなさい」。彼はまたわたしに言った、「これらは神の真実な言である」。
啓 22:14　自分の衣服を洗う者たちは幸いである．彼らは命の木への権利を持

ち、門を通って都の中へと入ることができる。

啓 22:20　これらの事を証しする方が言われる、「しかり、わたしはすぐに来る」。アーメン。主イエスよ、来たりませ！